

CSR Report

ふれあい報告書[®] 2011

ありがとうをつなぐ…



地球上で一番たくさんのありがとうを集めるグループになりたい。

WATAMI[®]

ブランドコミットメント
“ありがとう”の拡がり

ワタミグループは、創業時からただひたすらに思いをカタチにすべく相手の幸せを願い、小さなことから肩肘はらずにコツコツと“ありがとう”を集めてきました。

“ありがとう”の輪は、お客さま、株主様、お取引業者様、従業員、地域・社会、そして海外へと拡がりました。

これからも、多くの方々の幸せに関わりながら、たくさんの持続可能な“ありがとう”があふれる社会を目指し、更なる“ありがとう”を集めてまいります。



地球上で一番たくさんのありがとうを集めるグループになりたい。

WATAMI®

ふれあい報告書2011

■「ワタミグループCSR報告書」発行にあたり
 「ふれあい報告書」というタイトルは、私たちの活動の根幹である経営理念からネーミングされました。私たちは、人として、社会の一員としての責任を果たし、事業活動を営む一方で、できる限りの社会貢献に取り組んでいくことが大切だと考え、「できることからコツコツと一歩ずつ」を基本に創業時より努力してきました。

2001年より、この考え方に基づく行動を「ふれあい活動」と名づけ、グループのテーマに「環境とともに、社会とともに、人とともに」を掲げ、今まで以上に明確に決意(意思)を表明し、毎年、環境および社会貢献に関する報告書として、また2006年からはステークホルダー(利害関係者)の皆様との関わりについても記載し、CSR報告書として発行しています。

本報告書を通じて、皆様のご理解と貴重なご意見を頂戴することができましたら幸いです。

■編集方針

本報告書は、ワタミグループの活動や取り組みをわかりやすくご紹介させていただくことを目的に、ステークホルダーの皆様ごとに掲載しています。

本報告書では、
各ステークホルダーの皆様にご覧いただくご意見・ご要望を伺い、企業活動に活かしているか
活動に対する姿勢、昨年度の課題に対する実績と評価、今後の目標を積極的に掲載しています。

また、特にステークホルダーの皆様への関心が高い事項について記載し、情報の開示に努めています。

なお、本冊子に記載されている内容は、「ワタミふれあいホームページ」でもご覧いただけます。

(<http://www.watami.co.jp>)

「特集」では意図的に被災地の状況(写真)を掲載しないようにしています。

■対象期間

2010年度(2010年4月1日～2011年3月31日)の活動を中心に、一部最新(2011年度)の情報を紹介しています。

※ワタミの介護(株)、ワタミタクシヨク(株)については、2月決算のため、2010年度(2010年3月1日～2011年2月28日)の情報としています。

■対象範囲

ワタミ株式会社および国内連結子会社8社を基本に、ワタミグループ全体、あるいはグループ会社の個々の活動についても紹介しています。

本報告書の、P56「ワタミグループ概要」では海外を含むワタミグループ全体について紹介しています。
 ※P22、P23「お客さまとともに 外食事業(海外)」では、和民国際有限公司、和民(中国)有限公司及び和民餐飲(深圳)有限公司、台湾和民餐飲股份有限公司、WATAMI FOOD SERVICE SINGAPORE, PTE. LTDを対象範囲としています。また、対象期間は、12月決算のため、2010年度(2010年1月1日～12月31日)としています。一部最新(2011年度)の情報を紹介しています。

※P50～55では、ワタミグループが支援する3つの社会貢献団体、公益財団法人 School Aid Japan、NPO法人 Return to Forest Life、NPO法人 みんなの夢をかなえる会を対象としています。

■社名・団体名表記について

本報告書ではグループ会社の社名を略称で記載しています。(2011年9月末現在の社名を使用しています。)

1、ワタミ株式会社および国内連結子会社8社を「ワタミグループ」または「ワタミ」と表記しています。対象が異なる場合は、該当する会社名を記載しています。

2、(有)ワタミファームおよび(有)当麻グリーンライフを「ワタミファーム」と表記しています。

3、ワタミフードサービス(株)を「WFS」、(株)ティージーアイ・フライデーズ・ジャパンを「T.G.I.F.J」、和民国際有限公司を「ワタミインターナショナル」、ワタミの介護(株)を「ワタミの介護」、ワタミタクシヨク(株)を「ワタミタクシヨク」、ワタミ手づくりマーチャンダイジング(株)を「WTMD」、ワタミエコロジー(株)を「ワタミエコロジー」と表記しています。

4、公益財団法人 School Aid Japanを「公益財団法人SAJ」または「SAJ」、NPO法人 Return to Forest Lifeを「RFL」、NPO法人みんなの夢をかなえる会を「みんなの夢をかなえる会」と表記しています。

■将来の予測・目標について

本報告書には、ワタミグループの過去と現在の事実だけでなく、将来の予測・目標なども記載しています。しかしながら、これらの予測・目標は、記述した時点で入手可能な情報ないし判断であり、リスクや不確定な要因を含んでいます。

したがって、将来に生じる様々な要因により、活動結果が本報告書に記載した予測・目標と異なる可能性があります。読者の皆様には、以上のことをご理解いただけますようお願いいたします。

目次

- P 2 ブランドコミットメント
- P 3 目次・編集方針
- P 4 トップメッセージ
- P 6 ワタミグループに共通する経営の考え方
- P 8 ワタミグループの特徴
- P 9 ワタミグループの事業活動
- P10 コーポレートガバナンス

特集

- P12 東日本大震災復興支援
- P17 事業を通じて、事業を超えて…“ありがとう”を集めます。

6事業のご紹介

- P18 お客さまとともに 外食事業(国内/海外)、介護事業、高齢者向け宅配事業、MD事業・農業、環境・メンテナンス事業

- P34 株主様とともに

- P36 お取引業者様とともに

- P38 従業員とともに

- P42 地域・社会とともに

- P46 環境とともに

ワタミグループが支援する3つの社会貢献団体のご紹介

- P50 公益財団法人 School Aid Japan
- P52 NPO法人 Return to Forest Life
- P54 NPO法人 みんなの夢をかなえる会

- P56 ワタミグループ概要

- P57 2010年度アンケート結果/編集後記

バックナンバー

すべての「ふれあい報告書」は、ワタミふれあいホームページ<http://www.watami.co.jp>からPDF形式でダウンロードできます。



ワタミグループは、事業という枠を超えて、“ありがとう”を集めます。



ワタミ株式会社 取締役会長
渡邊 美樹

“WATAMI”であることが 会社の価値を決めます。

事業活動を通じた“ありがとう”

ワタミは、自分が嬉しいと思うこと、楽しいこと、笑顔でいられるという自らの幸せを元に、ただひたすらに相手の幸せを願い“ありがとう”を追求してきました。

結果として、理念オリエンテッドな企業文化=ワタミらしさが生まれました。そして、事業領域は第一次産業の「農業」から、第二次産業の「食材加工」を経て、第三次産業の「外食」「介護」「高齢者向け宅配」まで拡がり、多くの場面で“ありがとう”を集めることができるグループになりました。

事業活動を超えた“ありがとう”

企業の社会的責任というのは、企業が存在する以上、すべての活動が対象となるべきと考えます。ワタミは、「地球上で一番たくさんの“ありがとう”を集めるグループになろう」というグループスローガンのもと、社会に対して、よりよい存在であり続けるため、あらゆる活動を創業時から行っています。

もっともっと地球の響きに共感して、いままで以上の“ありがとう”を集めたい。

そして、地球という生命体全体と一緒に幸福になりたい。そんな新しい大きな夢に向かって、歩み始めました。

社会的企業 = “WATAMI”

ワタミグループは、社会が抱える問題解決を事業として取り組んでいます。事業の収益を核にして社会貢献に取り組もうということで、利益を上げることが最終目標でなく、あくまでも社会的課題を解決することを目標としています。

そのために、全社員の一人ひとりが、何のために、どのように“ありがとう”を集めるのかを考え、行動をしていく集団になる必要があります。

企業とは「人」そのものであり、一人ひとりの行動の反映です。社員一人ひとりが主人公として集めた「ありがとうの総和」こそが、“WATAMI”であり、存在を許される理由であり、CSRといわれるものです。“WATAMI”であることが会社の価値を決めると信じます。

売上や利益以上にワタミの存在自体がより多くの方の幸せに影響を及ぼせるよう

事業活動を通じた“ありがとう”集め

事業活動を超えた“ありがとう”集め

この両面から、ワタミの“ありがとう”集めを推進し、見守り続けてまいります。

渡邊美樹

100年企業 “WATAMI”を目指して

“WATAMI”は、「地球上で一番たくさんの“ありがとう”を集めるグループになろう」という

スローガンのもと、社会に対してよりよい存在でいたいと、活動している企業です。

私たちの活動を通じて

- 「地球人類の人間性向上のためのよりよい環境をつくり、よりよいきっかけを提供する」
- もっとたくさんの笑顔や“ありがとう”に関われるグループ企業になる
- ワタミと関わったすべての方たちに、私たちの存在を喜んでいただく
この思いをカタチにすべく、創業以来変わることなく、「たくさんの笑顔」・「たくさんのありがとう」と出会うべく挑戦を繰り返しています。

今までも、そしてこれからも。

ワタミは、「強く、大きく、ワタミらしく」をテーマとしています。

「強く」とは、ワタミの理念へのこだわりをより強いものとするを意味します。具体的には、各事業において、お客さまよりいただいた“ありがとう”を最大化するために、知恵を絞り、“ありがとう”の拡大再生産の事業構造を確固たるものとします。「大きく」とは、強くなった事業構造を持ち、それぞれの事業規模の拡大をすることを意味します。拡大とは、売上高の拡大ではなく、“ありがとう”の拡大です。「ワタミらしく」とは、「強く、大きく」の前提となる変わることのない私たちの価値観です。

「真」の継続こそ力なり。」

私は、「継続こそ力なり」と思っています。

一つのことが真の活動になるには、コツコツとやり続けること、そこには真の徹底が必要で、“真”であること…これがワタミグループの大きなメッセージでもあります。成すべきことは継続して、習慣になるまで、「非常にシンプルに、よりわかりやすく、やることを明確にして取り組み、徹底」します。

□人にやさしい会社、人を大切にできる会社であり続けること

□理念に基づき、額に汗する姿を必ず見続けられる会社であり続けること

□お客さま、ご入居者様第一主義を貫く会社であり続けること

これらを徹底します。より広く、社会から“ありがとう”を集めるには、理念浸透と人の育成、それを可能にする組織づくり、これが一番大切になります。

皆様の変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

桑原 豊



ワタミ株式会社 代表取締役社長 兼
ワタミフードサービス株式会社 代表取締役社長
桑原 豊

ワタミグループは、理念の共有を最

ワタミがその事業に参入してくれてよかったと言っただけのように、「人」と「人」がふれあう、あらゆる場面で、「ありがとう」を集めます。

ワタミグループ スローガン

「地球上で一番たくさんの“ありがとう”を集めるグループになろう」

ワタミグループ ミッション

「地球人類の人間性向上のためのよりよい環境をつくり、よりよいきっかけを提供すること」

ワタミグループ 経営の基本目的

「会社の繁栄、社員の幸福、関連会社・取引業者の繁栄、新しき文化の創造、人類社会の発展、人類の幸福への貢献」

グループ社員の仕事の仕方に対する合言葉

「from-O」

「明るくのびのびと仕事をしよう」

ワタミグループ憲章

ワタミグループは、

一、地球上で一番たくさんのありがとうを集めるために戦う

一、一人一人の社員が人間性の向上のため、

夢を持ち、夢を追い、夢を叶える努力をする

一、一人一人の社員が、人として美しい生き方を追求する

一、「人」が差別化となる、コツコツと売上利益を積み上げる
事業にのみ参入する

一、お客さまの満足をすべてに優先させる

一、公明正大な人事を行なう、完全実力主義こそ、
人事の要諦とする

一、額に汗した利益のみを、利益と認める

一、ありがとうの分だけ売上を上げ、
知恵の分だけ利益を出す

一、すべてのことにおいて、
損得で判断をせず善悪で判断する

一、ワタミらしいことをすべて肯定し、
ワタミらしくないことをすべて否定する

一、100年先から見た経営をする、
100年先から見た時、問われるのは数字の多寡ではなく、
いかに存在し、いかに周りによりよい影響を与えたかだ

※ワタミグループ憲章はワタミグループの経営判断基準を明文化したものです。

グループ社員としての行動基準

ワタミグループは日々の仕事の中で以下の基準を

常に意識し、行動し、常にワタミらしくあるべし

1. 常に謙虚なれ 常に感謝せよ

1. 他人の喜びや悲しみを共有せよ

1. 約束を守る、嘘をつかない

1. 愚痴、陰口を言わない

1. 笑顔で元気よく挨拶をする

1. 出来ないと言わない

1. 失敗を他人のせいにししない

1. 大いに発言し、果敢に実行する

1. 他人の意見を聞く

1. 恥ずかしいと思うことはしない

グループ社員の仕事に対する心構え

ワタミグループは同じ目的のために同じ心を持つ
同志の集合体であるべし

1. 感激できる感性を持つべし 感激は情熱の
源であり、情熱は成功への出発点である

1. 逆境に悲観せず、順境に楽観せず、常に
ハングリー精神を持ち挑戦し続けるべし

1. 勝つまで戦え、限界からあと一歩進め、
結果がすべてである

1. 問題意識を持つべし 問題の発見と解決が
次のビジネスチャンスを生む

1. 継続こそ力なり 日々の努力は継続される
ことにより信用を生み、信用は力を生む

重要視し、事業展開しています。

ワタミは、様々な社会貢献型ビジネスをグループで展開し、ステークホルダーの皆様から、感謝と信頼を集め続けることを目指します。

■事業活動を通じて“ありがとう”を集めます。
各事業活動を通じて目指すことを表現した経営目的

外食（国内外食：ワタミフードサービス株式会社、海外
外食：和民国際有限公司、和民（中国）有限公司及び和
民餐飲（深圳）有限公司、台湾和民餐飲股份有限公司、
WATAMI FOODSERVICE SINGAPORE. PTE. LTD）

一人でも多くのお客様に
あらゆる出会いとふれあいの場と
安らぎの空間を提供すること

介護（ワタミの介護株式会社）

一人でも多くの高齢者の方に心からのお世話を
させていただくことにより、お一人おひとりの幸せに
関わらせていただくこと

高齢者向け宅配（ワタミタクシヨク株式会社）

一人でも多くの高齢者の方にまごころを込めた食の
宅配サービスを通じて、喜びと幸せをお届けすること

MD（ワタミ手づくりマーチャンダイジング株式会社）

バラエティ豊かで、常に変化し続けるメニューを
支え、安全・安心な製品を安価で提供すること

農業（有限会社ワタミファーム）

食の基本である安全・安心を追求し、次世代に良い
環境を残し、人々の幸せに貢献する

環境・メンテナンス（ワタミエコロジー株式会社）

ひとつでも多くの施設をより地球への負荷の少ない
空間に変えること



■事業を超えて“ありがとう”を集めます。
各活動における基本的な考え

社会貢献& ボランティア活動

してあげるのではなく、させていただくことにより
学び、感動し、結果として成長させていただくこと

ワタミ環境宣言

美しい地球を美しいままに、子どもたちに残していくこと

公益財団法人 School Aid Japan

一人でも多くの子どもたちに、人間性の向上のための
教育機会と教育環境を提供する

NPO法人 Return to Forest Life

美しい地球を子どもたちに残すため、一つでも多くの
森を再生させることに貢献する

NPO法人 みんなの夢をかなえる会

一人でも多くの人々に“夢”の素晴らしさを認識して
もらい、“夢”をもち、“夢”を追いかけるためのきっかけ
を提供する

「体の重い亀」

ワタミグループのキャラクターで、グループ報のネー
ミングにもなっている亀さんです。まじめで一生懸命、ス
ピードは出ないけれど、着実に、一步一步、進む亀。できる
ことから少しずつ、目標に向かってコツコツと、決して後
戻りしない亀、私たちの
姿勢の象徴です。



持続可能な経営へ挑戦し続けます。

「ありがとうを集める活動」を基本に、地球環境を破壊することなく、安全・安心な社会を目指します。

ワタミグループは、「人間は本来持っている誠実さ、思いやり、感謝する心、そのような美しい資質を高めるために生まれてきた。企業活動においても人間性を向上できる環境をつくっていききたい」と考え、創業当時より、人としての人間性、企業としての企業性を重視し、あらゆるステークホルダーの皆様の満足を追求してきました。「地球上で一番たくさんの“ありがとう”を集めるグループになろう」というグループスローガンに代表されるワタミの理念に基づき経済的・社会的・環境的ニーズの充足に挑戦し、既存の慣習に捉われない革新された社会づくりに挑戦・邁進しています。

今まで、そしてこれからも。ワタミグループの特徴「理念経営」

① 理念に基づき存在対効果を最大に

ワタミの「ありがとうを集める活動」では、社員一人ひとりが集めた「ありがとうの総和」こそが会社の価値をつくと考えています。

お客さまから“ありがとう”をいただくことはもちろん、株主様、お取引業者様、従業員、地域・社会、そして地球環境への対応など、あらゆる場面で集める“ありがとう”が最大となるべく事業展開をしていきます。

ワタミと出会ったすべての方たちに、私たちの存在を喜んでいただけるように…。

② 理念へのこだわりから生まれたビジネスモデル

ワタミグループの事業展開は、「創業者の思い」がそのまま現在へとつながっています。外食事業でも介護事業でも農業でも、現在の状態が一朝一夕にできたものではありません。

「ワタミがその事業に参入してくれてよかった…」と言っていただけのことを目指し、どのような事業(業界)でも、常にあるべき姿を考え、皆が不便を感じていれば、そこにワタミが創意工夫を加え、挑戦を続けている姿が現在のワタミなのです。

③ ワタミ最大の財産は思いを共有した「人」

「企業は人そのもの」であり、私たち一人ひとりが、人生の主人公となる舞台として会社があります。

会社とは、創業者の思い(ミッション)があつてこそ、初めて人が集まり、“ありがとう”が集まる。

それが本来ではないかと考えています。

この「創業者の思い」と「それとともに実現しようとする仲間」が集まったのがワタミグループです。

ブランドテーマについて

ワタミでは、環境、社会、そして人に対して、よりやさしい存在になることを目指し、「環境とともに・社会とともに・人とともに」をブランドテーマとして掲げ、取り組んでいます。

ブランドテーマは、私たちの存在そして行動が、グループが活動するどの領域においても「社会に対してプラスになる(我々の存在が周りに良い影響を与えられるように行動する)」という宣言です。

ブランドテーマは、会社の存在そのものから事業の選び方も、仕事の仕方も、人に良い影響を与える存在であり続け、テーマとして掲げたことを、常に忘れず、少しずつでもやり続けるという意志表示です。



「事業活動を通じて、社会の課題解決」に貢献 ワタミグループの事業活動

ワタミは、一人ひとりが理念に基づく自発的な活動目標を設定し、新たな価値の創出、持続可能な社会の実現に向け、その内容を深めています。企業とは、単なる営利追求組織ではなく、企業市民としての社会的存在であり、社会の一員としての使命(責任)を果たし続けることにより、その存在・継続性が確保されると考えています。



外食

一人でも多くのお客様にあらゆる出会いとふれあいの場と安らぎの空間を提供すること

おいしいものがある、良いサービスがある、良い雰囲気がある場所に、好きな人と一緒にいる…。こんな場面を提供したいと考え、「安全・安心・手づくり」の商品開発、サービスレベルの向上、快適な空間づくりにこだわっています。

外食産業は人を幸せにする産業だと考え、「お店はお客様だけのものである」を店舗基本理念として、今後も笑顔の溢れる場面一つでも多く提供していきます。



介護

一人でも多くの高齢者の方に心からのお世話をさせていただくことにより、お一人おひとりの幸せに関わらせていただくこと
一人でも多くの高齢者の方に笑顔あふれる幸せな老後を過ごしていただきたい、親孝行に限りがないように、介護という仕事にも、これでよしはありません。

「自分の両親にして欲しいと思うことをすべてさせていただこう」を合言葉に、家庭的で居心地の良い清潔な空間で、お一人おひとりご自分らしく自由で豊かな時間が流れる暮らしを目指します。

すべての方に「ワタミのホームに親を入居させたいと思う子は親孝行だ」と言っていただけの介護施設にすること、親を思う気持ちをカタチにしていくことこそ「ワタミの介護」です。

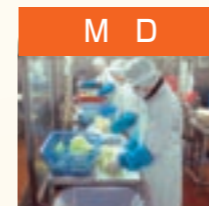


高齢者向け宅配

一人でも多くの高齢者の方にまごころを込めた食の宅配サービスを通じて、喜びと幸せをお届けすること

ワタミタクシヨクでは、「お客さまと同じ地域で暮らす“まごころスタッフ”が、毎日手づくりのお弁当を、手から手へ直接お届け」しています。

「今日もありがとう・こちらこそありがとう」…と笑顔で会話が交わされる。「心の温もりが伝わるお弁当を、一人でも多くの高齢者の方に届けたい」「さらに、より多くの人々に、この“ありがとう”の輪を広げたい」…。多くの方の日々の幸せや感動に関われるよう事業を展開、より一層社会に貢献できる企業を目指していきます。



M D

バラエティ豊かで、常に変化し続けるメニューを支え、安全・安心な製品を安価で提供すること

「食」を取り巻く環境の変化がますます加速する中で、「食の安全・安心を守る」ことは、「食」に関わる企業として当然の責務であると考えます。

ワタミ手づくりマーチャングデザインは、生産から消費までの商品の全工程を設計して「安全・安心」な商品をお届けします。これからも、「食」を通じてお客さまからたくさんの“ありがとう”を集める活動を上げていきます。



農業

食の基本である安全・安心を追求し、次世代に良い環境を残し、人々の幸せに貢献する

現在、さまざまな問題を抱える農業界。後継者不足、耕作放棄地の増大、農業者の高齢化による離農などで国内の自給率は下がり続けています。ワタミグループの農業参入は、「お客さまに、安全で安心な食材を使った料理をお出ししたい」と考えてのことでした。

安全・安心な農産物の提供と国内の農業諸問題を少しでも改善しようと、全国の生産者様とワタミグループが連携し、有機農業を積極的に推進しています。



環境・メンテナンス

ひとつでも多くの施設をより地球への負荷の少ない空間に変えること

お好み焼き宅配の「KEI太」での使い捨て包装容器問題から始まったワタミグループの環境対応活動は、現在、ワタミエコロジーに引き継がれています。環境への取り組みは、妥協するのではなく、現状でどのような環境負荷をかけているのかを自覚し、「出来る限りのことをすべて実行する」ことを基本にしています。

ワタミエコロジーは、「様々な施設における環境改善を行うことにより、現在進行している地球規模の環境問題の改善に寄与する」ことを目指し、環境対応型メンテナンス事業に集中しています。

コーポレートガバナンス ガバナンスに対する基本的な考え方

ワタミグループは「地球上で一番たくさんの“ありがとう”を集めるグループになろう」をスローガンとして、ステークホルダーの皆様から感謝と信頼を集め続ける存在になることを目指し、経営上のスピーディな意思決定を図りつつ、経営管理を効果的に行うことに努めています。コーポレートガバナンスの構築において、経営の透明性、企業倫理の確立は重要な要素であると認識し、継続的な改善活動に取り組んでいきます。

グループ意思決定の仕組み

ワタミグループでは、ワタミ(株)の取締役およびグループ各社の社長・経営企画部門責任者などが参加する「グループ経営会議」を週1回開催しています。

会議は、グループの事業効率を高めること、経営資源の管理、適正配分すること、潜在リスクに対応することなど、事業活動の安定性・信頼性を確保したうえでグループの意思決定を行うことを目的としています。

また、ワタミグループでは稟議システムを採用しており、一定基準の案件に関しては関係部門と管理部門の審議を経た上で、業務の執行を行う体制をとっています。社内規定に基づきリスク管理グループが、そのシステムの管理・運用およびその執行状況を監査しています。

さらに毎月1回、グループ各社の「役員会」において経営状態・サービス提供状態・従業員のマネジメント状況などを多角的に把握するため、KPI(Key Performance Indicator:重要経営指標)の確認、レビューを実施しています。これによって各社の課題の早期発見・解決を図り、意思決定の質・スピードの向上を実現しています。

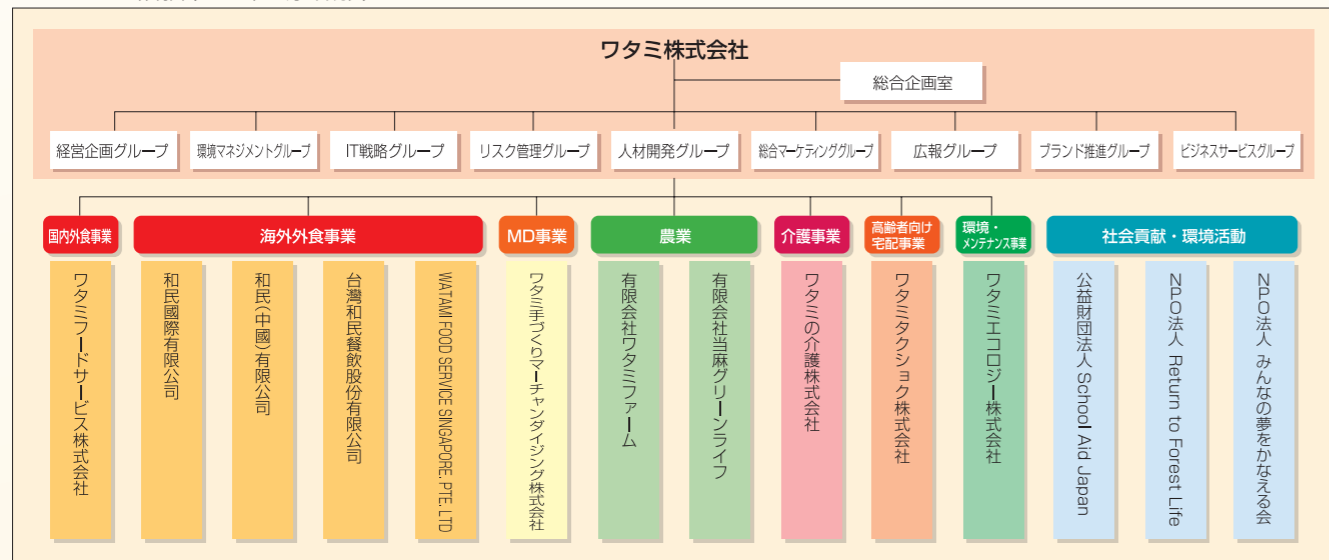
集団指導体制のさらなる進化

ワタミグループは、「地球上で一番たくさんの“ありがとう”を集めるグループになろう」というグループスローガンの実践を大前提とし、「現場の声」を経営に反映することを重視しています。2011年2月、創業者である渡邊美樹が代表権を返上し、グループ経営への関与スタンスが大きく変化しています。ワタミグループをさらに「強く大きく」するため、主要な事業会社の社長がワタミ(株)の取締役を兼務する「集団指導体制」を採用し、2年が経過しております。今後も、情報の確実な共有と迅速な意思決定を実現し、100年企業として永続的に発展可能な経営体制の強化を図っていきます。

継続的な事業ポートフォリオ最適化の取り組み

今回発生した東日本大震災にともなう原子力発電所の事故等による日本経済への影響の長期化が予想されること、居酒屋など酒類提供を主とする外食マーケットの今後の縮小傾向も鑑み、国内外食事業は一時的に出店、改装などの設備投資を抑制し、現状の収益改善に注力していきます。その一方で、高齢社会の進展によるお客さまのニーズに今まで以上に対応すべく、介護・高齢者向け宅配の「高齢者向け事業」へ経営資源を優先配分し、ワタミグループとしての成長を持続させていきたいと考えています。今後とも、ワタミグループの持続的な発展により、社会によりよいきっかけを提供すべく、常に市場と向き合い最適な事業ポートフォリオの構築に取り組んでいきます。

■ワタミグループ体制図(2011年10月1日現在)



コンプライアンス 企業倫理とコンプライアンスの徹底

ワタミでは、企業としての社会的責任を果たしていく上で「理念の浸透」に加え、「企業倫理の確保」と「順法精神の醸成」を最も重要な活動として位置づけ、社内への浸透に徹的に取り組んでいます。一人ひとりが法令の順守にとどまらず、高い倫理観・使命感を持って実践できるよう全員に「理念集」を配布し、グループ全社員が参加する「理念研修会」や新入社員研修にて、コンプライアンスをテーマに講義を行っています。

ワタミヘルプライン

ワタミでは、グループ内に存在する問題を広く受け付け、積極的に解決し、自己改善・自浄のできる組織になることを目指し、情報収集窓口(ワタミヘルプライン)を、グループ全従業員(パート・アルバイトメンバーを含む)およびお取引業者様に向け開設しています。ヘルプラインは、2006年4月から施行された公益通報者保護法にも準拠し、社内独立組織のヘルプラインプロジェクトに直結連絡する窓口と外部委託機関である(株)インテグレックス経由で連絡する窓口を設置、早期発見・未然防止の体制を強化するとともに、制度の透明性・利便性の向上、通報者の保護の徹底に努めています。今後も現状の運営を継続していきます。

ヘルプライン受付アドレス

※下記のEメールアドレスへは、携帯電話からのメールでも受信可能です。

A ワタミヘルプラインプロジェクト w-helpline@watami.net

E (株)インテグレックス(外部委託会社) w-helpline@integrex.jp
インテグレックスホームページ <http://www.integrex.jp>

リスクマネジメント グループリスク管理体制の維持

内部統制の構築を通じて、コンプライアンス・リスクマネジメント体制を推進し、内部監査によりグループ内に潜在しているリスクを把握、グループ経営会議・各社への提言を行い、是正・改善を図り、企業としての健全性(誠実さ・透明性)の確保に努めています。

内部統制の推進(金融商品取引法:J-SOX対応)

ワタミでは、金融商品取引法に基づく財務報告に係る内部統制の評価・報告制度(J-SOX)への対応を図り、グループ会社を含めた内部統制の体制構築、社内規定や業務プロセスの整備・評価・改善を行っています。

2010年度は、事業拡大に伴い、ワタミの介護の業務プロセスを評価範囲として追加しました。今後も、事業拡大に伴い、対象範囲を適宜追加していく予定です。

2011年3月期においては、引き続き、監査法人よりワタミの財務報告にかかる内部統制が有効である旨の内部統制報告書の記載が適正であるとの意見を得ています。

BCP(事業継続計画)の策定・運用

ワタミでは、大規模災害発生時の事業継続や復旧の必要が生じた場合を想定したBCPの策定・運用に取り組んでいます。

2010年度は、大規模災害発生時に継続すべき業務の担当者に対して演習を実施しました。

2011年3月の東日本大震災発生時には、過去策定した計画をもとにグループ各社において従業員の安否状況、事業拠点の被災状況等の情報収集の上、事業継続・停止した営業拠点の事業再開に向け対応を行いました。今回の震災時にはワタミグループにおける影響は限定的でしたが、今回の経験も踏まえBCPの内容の見直し、更新を行っています。

また、首都圏において震災当日帰宅困難者が多数発生したことを受け、外食事業の各店舗においては営業時間を延長し、帰宅困難者支援を行いました。

ノロウイルスによる食中毒事故発生のご報告

ワタミフードサービス株式会社が運営する外食店舗において、2010年度に2件のノロウイルスを原因とする食中毒事故が発生いたしました。1件目は、2010年9月10日の「語らい処 坐・和民 三軒茶屋駅前店」、2件目は、2011年1月15日の「炭火焼だいにんぐ わたみ家沼津南口店」です。「坐・和民 三軒茶屋駅前店」は7日間の営業停止、「わたみ家沼津南口店」は2日間の営業禁止の行政処分を受けました。両店舗におきましては、事故発生時より保健所の指導に基づき、対応・改善に努めております。ワタミグループでは、原材料の菌検査や外部検査機関による衛生検査、店舗に

における従業員の健康管理(毎日の体温・体調チェック)を行なっておりますが、事故発生後、更なる衛生管理の強化を目的として新消毒液の導入を行なっております。従来より、安心して外食店舗をご利用いただけるよう衛生管理には細心の注意を払ってまいりましたが、今後とも日々のチェックを継続して行ない再発防止に努めてまいります。今回、発症されたお客さまには大変なご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。また、関係者の皆様にもご心配ご迷惑をお掛けしましたこと、重ねて深くお詫び申し上げます。